

## 1. 調査報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	(※評価機関で記入)
法人名	メディカ・サポート 株式会社
事業所名	グループホーム だんらん
所在地 (電話番号)	鳥取県米子市富士見町2丁目132番地 (電 話) 0859-37-2855
評価機関名	有限会社 保健情報サービス
所在地	鳥取県米子市西福原2丁目1-1 YNT第10ビル 207号
訪問調査日	平成19年3月22日

## 【情報提供票より】(19年 2月22日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 24 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9人	常勤	9人, 非常勤 人, 常勤換算 人

## (2)建物概要

建物形態	単独	改築
建物構造	鉄筋 造り	
	7 階建ての	4 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	525 円
	夕食	650 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4)利用者の概要(2月22日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	1名	要介護2	3名			
要介護3	3名	要介護4	1名			
要介護5	1名	要支援2	名			
年齢	平均	84.5歳	最低	75歳	最高	91歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	加藤内科クリニック ・赤松整形外科 ・彦歯科医院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成18年の3月に開設されたばかりのグループホームである。このホームの特徴は「やよい」というスーパーマーケットと渡り廊下でつながっているため、買物に行くのに便利という事である。街中にあるグループホームということでもっと開放的なホームを想像していたが住民の理解が中々得られておらず、ホームの方は苦悩しておられた。しかし、これからという感じがするので諦めず住民の方々に交流を呼びかけていって欲しいと思う。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	初回の評価であり、改善課題について真剣に取り組んでいく姿勢が見られた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価には全職員で取り組み、多くの気づきがあり、今後、検討課題として取り組みをして行きたいとの事。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	推進会議は過去二回開催されているが、顔合わせ程度にとどまっており、これから具体的な意見交換が出来るのではないだろうかという印象である。積極的な呼びかけをしていただき、貴重な意見抽出をして頂き、取り組みや成果がサービス向上に活かされる事に期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族からの苦情・不安等の意見はあまり上がっておらず、従って運営への反映もまだ事例がないとの事。これからも随時、意見や相談、苦情等に対応出来る様に取り組むをして行くとの事。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会や行事・地域活動も参加し、運営推進委員会にも自治会のメンバーが参加されている。地域の交流にホームは積極的な姿勢を示しているが、自治会の理解が不十分で、行事の通知が無い状況である。もうひとつ手応えが感じられていないのが現状である。地域の人に認知症やホームの役割を認知・理解してもらうことから始め、連携へと結び付けて行って頂きたい。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当たり前の事を、当たり前の様に生活する「喜怒哀楽」というホーム独自の理念の基に、サービス提供が行われている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	開設以来新規の職員一人も含め、機会のある事に管理者から職員に話をしている。職員も理念を念頭に利用者に対し支援を行っている。また、何か問題にぶつかった時には理念を基に話し合いをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や行事・地域活動も参加し、運営推進委員会にも自治会のメンバーが参加されている。地域の交流にホームは積極的であるが、自治会の理解が不十分で、行事の通知が無い状況である。	○	民生委員や自治会との連絡を密にし、ホームの役割や特色の理解を深め交流して行ける様に今後の働きかけに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	開設当初より管理者から職員に対し、評価の定義について話がされており、職員も理解している。また、今回の自己評価も全職員で行われており、気づいた点等改善に向けて取り組む姿勢が感じられる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開設から二回実施され、市役所や家族代表、自治会代表等多方面の参加が議事録で確認できた。ホームとしての地域にたいしての役割、多機能や専門性を活かしたケアについて意見があり、これからの課題として取り組みを成されているとの事。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設統括の管理者が市の相談役をされている事もあり、連携が取り易い状況にあるが、ホームの管理者や職員が中心になり、市町村との連携を取り、共にサービスの向上の取り組みは十分ではない。	○	ホームの管理者や職員が中心に市町村と共に認知症教室や認知症予防、認知症の理解についての活動を通し、ホームについての理解や役割、サービスの向上につなげて行って頂きたい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会も開催され、「ケアタウンやよい」というお便りも発行されており、個々の家族に対しても担当職員から毎月直筆のお手紙に健康状態やエピソード等について出されており、個別の報告がなされている。金銭管理については面会に来られた時に報告が成されているが、定期的とは言えない。	○	毎月のお便りに金銭について定期的に報告される事を希望する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	開設以来、苦情らしい苦情が挙がっておらず、家族会でも意見や希望、苦情について求めているとの事。ホームや施設入り口等に意見箱等の設置が見られず、第三者委員についても設置が確認出来なかった。	○	直接意見や苦情が言えない家族や状況も想定される事から、意見箱や第三者委員の設置をして頂きたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、移動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、職員の移動は法人内で一回あり、ホーム管理者が利用者に対し職員を紹介し、ダメージについても配慮していることが聞き取りにて確認できた。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の力量を見極めながら、段階的に法人内外の研修を受けられる様に機会を確保している事が研修記録で確認できた。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	昨年秋に相互研修が行われており、研修記録にて確認出来た。参加職員は大変勉強になったとの事から、協会以外でも同業者と交流や研修会、勉強会の開催にもこれから取り組んで行きたいとの事。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所希望の利用者の自宅訪問や家族と一緒に施設見学を行ったりと納得を頂いた上での入所・サービス開始となっている。		デイサービス、小規模多機能を利用しながら馴染みとなり、グループホーム入居という事もあっては良いのでは。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念に掲げてある様に共感しながらケアを行い、支えあう関係を築いていると事。観察では職員中心の食事の準備が進められており、一緒に行ったり、本人から学ぶ場面は確認出来なかった。	○	利用者が出来る事、出来そうな事は「一緒をお願いします」と誘い、本人と共に行動が多く見受けられるような場面が欲しい。
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からの意向や暮らし方の希望についての抽出する手段や方法は家族会の議事録やホーム独自の家族アンケートの検討記録で確認できた。利用者本人に対しては、日々の観察や話の中で把握に努めている事が個別記録で確認できたが、具現化されていないように思えた。	○	一人ひとりの思いに寄り添うケアがなされていると思うが、利用者の方はあまり意思表示しておられないように見受けられた。利用者本人の意向や希望について具現化された検討結果を希望する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は具体的に作成されていたが、チームで取り組みながら、家族や関係者と話し合いながら計画作成を行ってが十分とは言えない。	○	家族や必要な関係者、担当職員の参加も含めたチームでの介護計画作成に取り組んで頂きたい。また、定期的な見直しも望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しやモニタリングは定期的とは言えない。また、見直された計画について家族に対し説明は行われているが、話し合いが十分でない。	○	見直された介護計画についても家族や必要な関係者と話し合いを行い、意見や希望を抽出し、活かされるような計画の作成に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの自己評価でもまだ取り組みがなされていないとの事。	○	ホームの多機能性を活かした取り組みにこれから期待したい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医へは家族と一緒に受診される様に支援が成されている。主治医との連絡も受診時に各利用者が個別に「連絡ノート」を作り、コメントや意見・指示をもらいながら連携が取られていた。また、協力医の二週間に一度の往診も実施されており、適切な医療が受けられる様に支援がなされていた。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホーム管理者や職員はターミナルに向け、一定の考えが有るが、法人としての方針の共有には到っていないとの事。	○	重度化やターミナルに向けて、法人としての方針を確立していただきたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録や個人情報が含まれている書類・薬剤等は、いつもホーム事務所の鍵付きのロッカーに収容されており、職員と管理者しか知らない所に鍵が置かれており、個人情報の取り扱いには十分配慮がなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本人からの意思表示が少ない事もあり、なかなか希望の抽出も難しい場面もあるとの事。職員が健康状況や身体状態を見ながら、買い物や外出が好きな方には、お誘いをして、希望しない方にはホームでゆっくり過ごすよう支援が成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	評価当日は職員と一緒に食事の準備を行う方は余り見受けられなかったが、片付けについては、職員の誘いもあり、一緒に行われていた。	○	個人の能力を活かしながら、座ったままでも出来る料理の取り分けや箸を並べたりと、色々職員からお願いをしていただき、出来る事への新たな発見への取り組みをして頂きたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日出来るが、時間の決まりが有り、一人一人の希望やタイミングにあわせた支援とは言えない。見たいテレビ番組の時間によって入浴時間内での入浴希望への支援は成されている。当日や急な入浴時間外での入浴希望への対応は難しいが、前もって分かっていたら、対応は可能との事。	○	職員のシフトも関係してか、就寝前に入浴希望者等や好きな時間、当日、急な入浴希望にも対応できる様に今後の取り組みに期待したい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームのハード面や家族の理解も関係して、希望の支援が難しい部分も有るが、プランターでの植物の世話を支援したり、行事の時での挨拶やまとめ役等の役割は有るが、日々の中での役割・楽しみごと、気晴らし等の支援は十分とは言えない。	○	ホーム内の日常生活で本人の生活歴を活かした役割や楽しみごとを見つけたり、発掘していただきたい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の支援が成されているが、(もっと機会を増やして欲しいと家族アンケートにもあり、)日常的な外出の支援が少ない様に思われる。	○	身体機能や健康状況も関係するが、公園に散歩等と戸外に出かける機会を増やして頂きたい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの玄関や施設の入り口等には鍵かけは成されていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は二回実施されたが、備蓄や災害対策等のマニュアルの整備が不十分であった。	○	災害対策用にマニュアルと備蓄の整備は早急的に取り組んで頂きたい。また、地域住民の協力が得られる様に働きかけもして頂きたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分確保の支援は各種チェック表にて確認できた。毎日の摂取カロリーの把握は十分とは言えない。今年に入り、職員の友人の栄養士に日々の摂取カロリー・バランスを見て頂くようにしているとの事。	○	栄養バランスについて相談できる栄養士や管理栄養士の確保に期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が集まる居間や畳の部屋は自然の光や換気の配慮がなされており、居心地のよい工夫がなされていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やたんす、なじみの縫いぐるみも持ち込まれており、コタツのある居室も見受けられた。		